

あざみ沢通信

第35号

H30年度第2号
長野県野沢北
高等学校
PTA広報委員会

時代を振り返り 新たな時代へ

平成三〇年度PTA会長 木村 朋章



日ごろから皆様にはPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。また、各種活動へご協力くださっている皆様にお礼申し上げます。

平成という一つの時代（元号）が間もなく終わり、新しい時代が始まります。

一〇年一昔と言いますが、あつという間の三〇年だった気がします。しかし、この三〇年を振り返ってみると様々な出来事がありました。私たち自分たちに直ちに影響を及ぼした消費税の導入。そしてその後の現在も少しずつ税率は上がっています。この導入前には駆け込み需要がかなりありました。当時バブル経済だった中にいた自分も、新車購入から車検を迎える前に悩んだ挙句導入ギリギリで車を買換えたことを記憶しています。その後、大きく日本経済を揺るがしたバブル崩壊があり、その十数年後には世界的に大きな影響を及ぼしたリーマンショックです。このリーマンショックの影響は一年程続きました。会社は一時帰休を実施し、出勤日数はかなり少ない日々が続きました。休みが多い分仕事以外の時間は増えますが、給料カットが実施され収入は減りました。自分がどうという行動をとっていたのか当時のことをはつきり覚えていないのですが、末っ子は幼く手がかかる時期でした。妻のその頃の話では、一番手の掛かる時期に家に居てくれたことが助かっていたようです。これからは女性が益々活躍する時代になると思います。それぞれの役割を双方が担い、家庭生活を送る重要性が必要となるのでしよう。国内の自然災害に目を向けてみると、阪神淡路

大震災・新潟県中越沖地震・東日本大震災・熊本地震の震度強の地震や、近年は温暖化の気候変動とされる各地の豪雨災害が起きています。自然災害の全てを避けることは出来ません。発生の行動や対処方法を学び、先ずは身近な所から備えをする必要性を強く感じています。海外に目を向けると、各地で様々な戦争や紛争が起こり今尚続いています。経済を取ってみると成長を遂げている大國間での世界を巻き込んだ貿易戦争です。景気を大きく左右し、今後の動きを注視し目が離せない状況ではないでしょうか。

学校教育に関わるものとは違う内容を記述しましたが、正副の二年間PTA役員として各種大会や行事に参加させてもらいました。今まで学校教育に関する催しにあまり参加してこなかった自分には、大変勉強になることが多々ありました。特に大会で行われる講演や発表会では、地域や行政で様々な活動や研究・研修会が行われている内容を知ることができました。また各種講話では、これからの社会はどのような人材が求められるか。はたまた、自分の人生を大切にしなければならぬ等々と、多岐に渡る分野で勉強になりました。

これらの様々な体験を振り返り、これから訪れる新たな時代に生かしていければと考えております。

最後に平成三〇年度という節目の年にPTA会長という経験の機会を与えて頂きありがとうございます。校長先生を始め各先生方と各役員の方々にお礼を申し上げます。

お世話になりました

学校長 田澤 直人



日ごろから本校の教育活動に、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年九月に長野県教育委員会が決定しました、「高校改革」夢に挑戦する学び「実施方針」は、「新たな学びの推進」と、「高校の再編・整備計画」の二本柱で方針を示しております。「新たな学びの推進」に関しては、これまでご案内していますとおり、昨年度から実施しています普通科における「探究」

の導入及び理数科開設以来実施しています「課題研究」の、より一層の進化・深化に努めているところです。

「高校の再編・整備計画」に関して、佐久地域の再編計画の方向性は、「小諸市と佐久市に適正数を考慮しながら規模の大きさを活かした都市部存立校を配置する」と、この「実施方針」には書かれております。これは、私が考えますに、現在佐久市内にあります都市部存立普通校と位置付けられます。野沢北高校・野沢南高校・岩村田高校の三校を二校に再編整備する方向性を示しており、この地区の急激な少子化を考えました時には、避けられない状況と推察します。

ちなみに、旧第六通学区における、現在の高校一年生は、中学校卒業次には一九四九人でした。それが、現在の一歳児になると、一四五五人となり、四九四人の減少となります（高校教育課調）。四九四人を一学級四〇人で割り返すと、約一二学級の減少になるわけです。佐久市内の普通高校三校ともに、一学年五学級規模であり、規模的に、これ以上の学級減はできかねる状況になっています。佐久地域の佐久市内普通高校以外の他校においても、学校規模は、おおむね小さくなっています。

参考までに、来年度四月高校に入学してくる生徒たちの、佐久地域の県立高等学校全日制の募集学級数を列記します。蓼科三学級、小諸商業四学級、小諸五学級、軽井沢三学級、佐久平総合技術七学級、岩村田五学級、野沢北五学級、野沢南五学級、小海三学級、合計四〇学級。

なお、一学級減となると、教員定数も二名減となることもご承知おきください。本校も、七学級規模の時代に比べ、現在五学級規模ですので、一二人の教員定数減となっている現状もご理解願います。

今後、「高校の将来像を考える地域の協議会」も立ち上がり、この協議会の中でも議論がなされることと思いますが、佐久地域のこれからの高校生のために、何がベターな方向なのかを、是非、PTAの皆様にも、学校と一緒に考えたいと思います。

最後に、私もこの三月で定年退職を迎えます。教員生活最後の二年間を、歴史と伝統の根づく野沢北高等学校で勤務することができ、大変嬉しく思うと同時に、PTAの皆様から頂戴しました様々なご厚情に感謝申し上げます。

今後もし引き続き、学校に對しまして、ご支援、ご協力のほど、重ねて、よろしくお願い申し上げます。

体育祭 10月3・4日

もしも校内行事委員長が 体育祭の振り返りを書いたら

二年一組 油井 奎音

神頼みから始まった体育祭。台風の影響で実施事態が危ぶまれたが、まさに奇跡ともいえる天気とグラウンド状態の回復により、結果的に予定通りの二日間を開催できたことは、当日までの長きにわたる準備の大変さを考えると、涙なしには語れない。

今年は、実施種目や競技日程、参加人数など近年稀に見る大幅な改正があった。簡素になったものもあれば、競技進行上、より複雑になったものもある。その処理量の多さに、当時は夜しか眠れないほどの不安でいっぱいであった。しかし、私がそうであっても冷静に一つ一つ確実に処理してくれたえびちゃん、バレーが好きなのうさく、この二人の副委員長のおかげで成功につながることができた。二人には常人には耐え難い迷惑をかけてしまった。一生をかけて償っていかうと思う。勿論、先生方や審判の方々の協力により成立していたことは言うまでもない。心残り

なのは、我が一組が学年で四位だったことである。二年連続四位であるという事実は、委員長在籍クラスとしては到底許されるべき結果ではない。来年はどんな手を使ってでも一組を優勝に導こうと思う。体育祭に最大の敬意を持って筆を置くことにする。



新生徒会長 あいさつ

二年五組 大工原 司

野沢北高校新生徒会長の大工原司です。ハンドボール班に所属しています。アイドルグループ「乃木坂46」の大ファンです。彼女はいいですが、リアルに充実した生活を送っています。

来年度は年号が変わるのに合わせて、野沢北高校生徒会も新たなスタートを切ろうと考えています。そのためにも意見箱を設置したり、ホームページを改良して意見を書き込めるようにしたりとより多くの声を集めて、実際に活動をしていきたいと思います。

勉強・班活・生徒会と忙しい生活ではありますが、クメリハリを持って行動し、全力で取り組んでいきたいです。よろしくお願ひします。



白樺湖での学習合宿

四組 小林 美海

二泊三日の学習合宿は、出発前の点呼時にスマートフォンでの没収という衝撃的な事実から始まりました。宿泊施設に着くと、三日間のスケジュールの確認があり、そこで合計二十時間以上の勉強をする事を知りました。「ここにきた以上、現実を直視してやるしかない。」と自分を奮い立たせ、頑張ろうと決心しました。長時間徹底的に学習に取り組んだため、疲れを感じる時もありましたが、そんなときは集中して学習に取り組む周囲の友達の姿がとても励みになりました。お互いに刺激を与えあいながら、高め合える環境に恵まれた事に感謝したいです。

また、本校の卒業生で信州大学教授の藤森先生に講演をして頂きました。大学受験には沢山の知識が必要だからこそ「今しかできない無駄だと思ふ事（＝本質を知るために必要なこと）をやる。」という先生の言葉が深く心に刻み込まれました。

三日間を振り返って、以前の私の学習内容と比較すると相当濃い時間だったと思います。スマートフォンの使い方を見直すきっかけともなりました。大学受験やテスト勉強の際、「学習合宿の時にあれだけでできたのだから!」という心の支えになっていくと私は感じます。これからは、自分の限界を自分で決めずに、達成感を得られる学習をしたいです。



1学年

学習合宿 白樺湖



学習合宿での三日間

五組 山崎 彩音

十月に、携帯電話を一切持たずに勉強をする学習合宿がありました。二泊三日の合宿で、国語・数学・英語の三教科を重点的に勉強しました。いつもとは違う不慣れた場所で携帯電話やゲームから完全に離れて勉強するという機会はほとんどないので、貴重な体験でした。そして、勉強している時間はいつでも先生方に質問をしたり友達と教え合ったりできました。集中して一人で勉強したい人はクラスごとの部屋で、質問や教え合いをしたい人は質問部屋でできたので、それぞれが集中して充実した勉強時間を過ごせたと思います。勉強の他にも、講演会があったり、毎日宿の方の美味しいご飯が食べられたり、最終日にバーベキューをしたりと三日間のうちに色々なイベントがあつて、あつという間の三日間でした。この合宿で、携帯電話との付き合い方や自分の勉強方法、周りの友達の姿を見たときに思う自分の姿についてなど、各々が様々なことを考えて向き合えたかなと思います。

2学年

修学旅行



修学旅行

二組 伊藤 遼

私たちは修学旅行を通して、沖縄のさまざまな文化や歴史に触れ、楽しみ学ぶことができました。特に心に残ったことを紹介したいと思います。

まず、食文化です。普段あまり食べる機会のない沖縄料理を堪能できました。代表的な沖縄料理のチャンプルーでは、ゴーヤはもちろん豆腐など、一つの味や材料にとられない自由な沖縄らしさを感じられる味でした。

次に景色です。沖縄の海はとても綺麗で、いつまでも見ていられました。住宅街には、シーサーやヤシの木、ハイビスカスがあり、長野とは違う景色でとても新鮮でした。

最後に歴史です。沖縄戦や平和について深く学ぶことができ、戦争のない平和な日々を大切に改めて感じました。安心して学校生活を送れることに感謝し、何事も一生懸命努力していきたいです。そして悲惨な戦争を二度と起こさないためにも、沖縄戦を多くの人に伝えていきたいです。とても充実した四日間でした。

沖縄修学旅行の思い出

一組 岡本 春衣

修学旅行の私の一番の思い出は、沖縄の青く澄んだきれいな海です。移動中のバスから見える海もキラキラしていてきれいでしたが、潜って見る海の中は遠くまで見渡せるくらいに透明で透き通っていました。色とりどりの魚に直接エサをあげたことはとても貴重な体験でした。

平和学習では、沖縄で昔何があったのかを学びました。事前学習でも学びましたが、実際に映像や写真を見ると想像以上に悲惨で、悲しいことが起こったということを知りました。ガマの中の体験では、暑くて狭くて、当時はそれ以上の苦しさだったと思います。この平和学習で学び感じて、改めて自分たちが平和に暮らせていることに感謝し、それが一生続くといきたいと思います。

他にも、おいしい食べ物や楽しいエイサー体験など、最初から最後まで充実した修学旅行でした。また家族や友人と行きたいです。

探究基礎を学んで

一年一組 大塚 香乃

私たち一年生は、毎週月曜日の七限目に探究基礎を一年間学んできました。私たちが暮らす現在には、解決の糸口さえ見つからないような問題がたくさん存在しています。これからの未来を背負う私たちはそのような問題から逃げずに挑戦することが求められます。探究学習はこのような問題から逃げずして未来を切り拓いていく力を養っていくのだと教わりました。

はじめは、コミュニケーションの学習で楽しみながらできるものが多く、だんだんと数理的推論や問いの立て方など探究基礎から探究へ近づいていくものとなりました。

また十一月に行われた探究発表会では、二年生が一年生や一般の方に向け、約一年間してきた探究活動の成果を発表しました。自分では考えつかない多様な疑問に触れ、質問の時間も設けられておりとても良い会だと思いました。重い内容の班や面白いテーマの班もあり、その中で他の班とかぶらない意外な視点からの問題を扱う班の発表がより人気だったと感じました。他の人と違う目線が大事で、さらに色んな問題と結びつけることで新しい見方にもなるということが分かりました。

自分たちも一年後このような会を開いてもらおうと思うので、探究内容以外で学んだことを吸収して活かしたいと思いました。聞いている人への質問や文字やグラフの配置など、初めてその問題を考える人にも分かりやすい工夫が大事だと思いました。自分たちの将来に役立つということを忘れずに励んでいきたいです。



探究

探究を終えて

二年三組 中澤 那香

私たちは二年間かけて探究を行いました。探究活動では問いの立て方やデータの読み取り方など探究を行う上で必要な技能を探究基礎で学び、その後実際に自分たちで独自のテーマを考えて探究をし、探究したことを探究発表会で発表しました。自分たちで問いを立ててそれに関する情報を集め、情報の整理・分析をし、内容をまとめて自分たちの言葉で相手に伝えるという工程のそれぞれが初めて行うものが多く、非常に困難でした。

まず、情報を集める際に情報源を調べることが大切だと知りました。誰が書いたのかよく分からないインターネット上の記事は間違っていることが多く、普段の生活でも知った情報を鵜呑みにせず、情報を見極めることが重要だと感じました。

そしてプレゼンテーションを行う上で、いろいろな方に質問や意見を頂くことがとても大切だと思いました。先生方やクラスの人に何回か聞いて頂くと、自分たちが気づかなかった不ポイントや意見が多く出て、発表することに自分たちの考えを深め、探究をより良いものにするのができたと思います。探究発表会でも聞いた方々に感想を書いて頂き、とても参考になりました。

今回のこの探究をとおして学んだことは、必ず必要になるはずだと思います。今後この経験を活かしていきたいです。



理数科課題研究

課題研究のまとめ

二年五組 篠原楓

高校二年生に進級し、新しく物理と生物の授業を受け始めた。ある日の物理の授業で、クラスの全員で手をつなぎ、そこに電流を流して名曲「小さな世界」を流すという実験を行った。その時、この実験に心を揺さぶられた者たちが集い、全校生徒六〇〇人でも同じことができるのかの実験を計画した。私も心揺さぶられた者の一人である。

実験は困難を極めた。全校生徒を巻き込んで実験を行うことは非常に機会が少なく、また一人一人にしっかり伝わるように指示を出すことは難しい。何とかデータを取り、その後も様々な実験を行った。データをまとめ、矛盾が生じていないかを確認し、単位もそろえた。正直、結構レベルの高い研究になったと少し自信を持っていた。

しかし、他校との交流会や、校内他のグループの発表を聴いていると、まだまだ足りないものがあつた。プレゼンテーション能力である。ただ数値を読み上げたり、原稿だけを見て話したりするだけでは相手に伝わらず、退屈なプレゼンテーションになってしまふ。自分もプレゼンテーション中に「えっと……。」と言ってしまう癖があつたが、練習を重ねたおかげで、戸惑わずに発表ができるようになったと思う。

「課題研究発表会はスタートラインだ。」という言葉が告げられた。まだまだ先は長いのかと感じる前に、自分たちの研究がより多くの人に伝えられることを光栄に思う気持ちがあつた。協力して下さった皆様にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。



ご卒業

おめでとう

三年間をふりかえって

三年一組 友野涼

私の高校生活はどうだったかなあ……。と考えてみると、いろんなことがボンボン浮かんできます。クラスマッチ、文化祭、修学旅行などのイベントはもちろんとつても楽しく、高校生活を語る上で、はずせないキラキラした思い出が沢山あります。しかし、私は何にも特別なイベントはない普通の日の中でふと、幸せを感じる瞬間がありました。それはお昼の友人との楽しいランチタイムです。話しが盛り上がりすぎて食べるのが遅くなってしまいう事も多かったです。この時間が本当に楽しくて、一気に元気がチャージされていました。お昼ご飯は友達と食べるとなんごんなに美味しいのか不思議でした。

このように、三年間を振り返ってみると、高校生活の中で共に笑って元気をもらえる友達って大切だなあと改めて思います。班活の仲間は、共に一つの目標に向かって熱くなれる仲間であり、時には負けたくないライバルでもあります。私は特に、友達の間で頑張っている姿から自分も頑張らなきゃと気合いを入れ直されることが多かったんです。そのため高校生活の中で、「一番友達に感謝を伝えたいです。これからも、「友達を大切にすること」「人を大切にする気持ち」を忘れず、毎日楽しく生活していきたいです。

三年二組 戸谷龍

高校生活も残りわずかとなった今、三年間を振り返ると全てが美化されて思い出されます。班活に勉強に通学に、一つ一つを見れば圧倒的に辛いことの方が多い日々でしたが、それらを乗り越えることができたのは仲間の存在が

あったからでした。

私が三年間過ごしたクラスは、今思うと少し異質な空気を放っていた存在だった気がします。強歩大会や体育祭では常に上位の結果が求められ、他クラスとは比べ物にならないほどのプレッシャーの中、闘ってきました。しかし、そうしたことでクラスのメンバーのプレーを全力で応援し、勝利した時には人一倍喜ぶことができました。勝利に向かってクラス全員で団結したことは、一生の財産になったと思います。

班活も終わりとなり、受験期に入ってから皆の切り替えはずさまじいものでした。私は少し遅いスタートとなりましたが、周りに遅れないように必死に学習しました。模試ではライバルと得点を競い、分らない点は教え合うことで、互いに高め合うことができました。

野沢北高校での高校生活を送れたことは私にとっても誇りです。今の仲間との関係が今後も続いていくことを願っています。三年間ありがとうございました。

三年三組 伴野柚果

私の高校生活を振り返ってみると、実に沢山の思い出があります。団長に前に出された応援練習や全身筋肉痛になった強歩大会、友達とより仲を深めることができた修学旅行など、書ききれないほどです。その中でも特に私が思い出に残っているのは、班活動です。

私は軽音楽班に所属していました。辛いことも多く、何度も挫けそうになりましたが、それを乗り越えて三年間班活動を続けることができたのは、支えてくれる仲間や友達がいたからです。練習中は皆でよりよい演奏をするために意見を出し合いながら真面目に練習し、練習が終わると校舎の周囲をお散歩したり、班室で何時間も雑談したり……。そんな家族のような仲間たちと過ごした時間は、私にとってかけがえのないものです。

不安と期待で胸がいっぱいだった入学式から早三年。沢山のひととの出会いや様々な経験を通して、私自身大きく成長し、素敵な高校生活を送ることができました。今まで関わってくださった全ての人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

三年四組 横山健竜

コスプレの如く「なんちゃって制服」を着て入学した凡そ三年前の四月から、文化祭のクラスTシャツをバジヤマ

に使っている今まで、高校生活の三年間は本当にあっという間であった。

中でも思い出深いのは、一年生の冬に演劇班に入班したことだ。突然入ってきた新入りの私に先輩や同学年の仲間がとても優しく、愉快に接してくれた。私はすぐに演劇班が大好きになり、毎日の放課後がとても楽しみにした。しかしそんな先輩方が引退すると、演劇班は半ばブラック企業と化した。そう、総文祭である。準備や講習のために毎週のように上田まで休日出勤させられる羽目となった。それでも宮城総文祭の見学という社員旅行のような楽しみがあったものの、信州総文祭当日に至っては高三の夏休みも十日間上田まで始発で連動という地獄であった。私は当時もそんな慣れない生活と毎日支給された茶色すぎる弁当のせいで腹痛を起こした。

調子に乗って総文祭への文句を書き連ねてしまったが、そんな忙しい日々もとても楽しかった。私は他にもダンスや市の文化事業の演劇への参加など、やりたいことは全てやることができた。やりたいことをやれたという有難さ、周囲に感謝したい。

三年五組 巴山禅

高校生活に期待や不安を胸中に抱いて入学してから約三年が経ちました。班活動や文化祭、体育祭、修学旅行などの多くの楽しいことがありました。(文化祭はほとんど出ていないが……)

高校生活で特に思い出深いのは班活動です。楽しいことや辛いことなどを仲間と一緒に経験してこれた時間はとても貴重なものになったと考えています。私は守備の要で花形でもあるショートを守っていました。何度もチームのピンチをファイナルプレーで救ってました。ファイナルプレーをした時に「今の俺カッケェ」と思うこともしばしばありました。公式戦でお客さんがいる中で、自分のファイナルプレーで歓声があがった時は、とても気持ちの良い瞬間でした。

あっという間に過ぎていった三年間、多くのひととの出会いが、私の身長以外の部分を大きく成長させてくれたと思っています。野沢北高校と別れることは寂しく感じられ、込み上げてくるものがあります。北高生として過ごした時間はとても貴重で、かけがえのないものでした。

班活動の大会結果

今年度の秋以降に行われた、長野県大会以上の結果を中心に紹介します

運動班

◆陸上

<県新人大会>

(男子)
 石川泰地 400m予選
 尾沢栄治 110mハードル予選
 石川泰地 400mハードル準決勝
 小須田亮祐 走幅跳 13位
 早坂晃太 三段跳 22位
 飯塚亮介 砲丸投 25位
 飯島詢平 円盤投 24位
 宮沢颯助 やり投 5位
 飯塚・岩崎・石川・早坂
 400mリレー準決勝
 宮沢・早坂・岩崎・石川
 1600mリレー予選

(女子)
 三浦元海 400m 予選
 碓氷真子 800m 準決勝
 碓氷真子 1500m 予選
 碓氷真子 3000m 12位
 坂根樺音 100mハードル準決勝
 三浦元海 400mハードル準決勝
 坂根樺音 走り高跳 1位
 林実玲 砲丸投 19位
 林実玲 やり投 4位
 坂根樺音 やり投 21位
 林・碓氷・三浦・坂根
 400mリレー予選
 三浦・坂根・碓氷・林
 1600mリレー予選

<北信越新人大会>

宮沢颯助 やり投 11位
 坂根樺音 走り高跳 16位
 林実玲 やり投 9位

◆剣道

<県新人大会>

(男子)
 団体 対 篠ノ井 1-0勝利
 対 岡谷工業 0-1敗北

◆ソフトテニス

<県新人大会>

(男子)
 団体戦
 対 長野高専 1-2負け
 (女子)
 団体戦
 1回戦
 対 長野商業 0-3負け
 個人戦
 木村・友野ペア
 1回戦
 対 中山・宮澤(穂高商業)
 4-1勝ち
 2回戦
 対 藤森・岩崎(長野西)
 4-0勝ち
 3回戦 対 柳澤・上原(岩村田)
 4-0勝ち
 準々決勝
 対 熊谷・岩井(東海大諏訪)
 3-4負けベスト8

<選抜大会>

個人戦
 木村・友野ペア
 2回戦
 対 岡部・有坂(佐久平総合)
 4-3勝ち
 3回戦
 対 山口・清水(塩尻志学館)
 3-4負けベスト16

◆テニス

<県新人大会>

(男子)
 B級シングルス
 平林佑介
 対 中野立志館 6-4
 対 松商学園 3-6
 猿谷 知紀
 対 伊那北 6-2
 対 松商学園 0-6
 B級ダブルス
 猿谷・平林
 対 松本第一 4-6
 (女子)
 シングルス
 井出杏香
 対 松商学園 0-6

◆バスケットボール

<県新人大会>

(男子)
 対 長野吉田 61-70
 1回戦敗退
 (女子)
 対 松本深志 48-77
 1回戦敗退

◆ハンドボール

<県新人大会>

(男子)
 対 諏訪清陵 26-18
 対 上田 14-32 ベスト8
 (女子)
 対 木曾青峰 13-8
 対 屋代 13-19 3位

<北信越大会>

(女子)
 対 高岡向陵 0-39

◆卓球

<県新人大会>

団体戦
 対 飯田OIDE長姫1-3負け
 シングルス
 美齊津伸広
 一回戦 対 長野商業0-3負け

◆弓道

<県新人大会>

(男子)
 男子団体 予選敗退
 男子個人 予選敗退
 (女子)
 女子団体 予選敗退
 女子個人 予選敗退

◆水泳

<県新人大会>

(男子)
 油井奎音
 100mバタフライ 8位
 阿曾沼祐人
 400m個人メドレー 8位

(女子)
 小林萌笑
 100mバタフライ 2位
 200mバタフライ 1位
 200m個人メドレー 6位
 永原彩
 50m背泳ぎ 1位
 100m背泳ぎ 4位
 高柳美礼
 400m自由形 4位

◆サッカー

<県新人大会>

対 赤穂 1-2 1回戦敗退

文化班

◆棋道

<県新人選手権大会>

(男子)
 男子個人戦A級
 中嶋駿 5位
 小金沢優貴 ベスト16
 畑裕太 ベスト32
 佐藤駿 ベスト32
 男子個人戦B級
 眞保拓弥 5位
 男子団体戦
 菊池・佐藤・小金沢・高瀬・畑
 優勝

<朝日アマ名人戦長野県大会>

一般A級
 菊池友恒 優勝

◆英語

<長野県高校英語ディベート大会 県大会>

SALON
 (2年眞田1年嶋崎・高木・高柳)
 16位

BALON
 (2年月岡・松島・2年江刈内・
 尾沢・鈴木・中澤) 19位
 TALON
 (2年瀬下1年倉館・四ッ谷・土
 屋・宮本・小林) 30位

◆吹奏楽

<中部日本吹奏楽コンクール>

A編成 銀賞受賞

<長野県管楽器 個人重奏コンテスト>

林美世 個人の部 銀賞
 中山志瑛名 個人の部 銀賞
 金管四重奏 重奏の部 銀賞
 打楽器四重奏 重奏の部 銀賞

◆軽音楽

<第14回長野県高等学校文化連盟 軽音楽専門部県フェスティバル Power Live 2018 KF>

Re : start
 (2年:掛川・山浦・石井・森
 泉・水間) 出場

編集後記

インターネットで調べればすぐに知ることがわ
 かり、わざわざ書店に行かなくても本が買える時代にな
 りました。世の中は、最小の努力で最大の効果を得
 るための情報に溢れ、いかに無駄をなくすかが重要視
 されています。

「道に迷うことは、道を知ることだ」

これはスワヒリ語の諺です。前だけを見て、ゴール
 への最短距離をまっすぐと進むだけではなく、たまに
 は立ち止まって周りの景色を見たり、寄り道をして道
 に迷ってみたりといった無駄を楽しむ余裕を持ってみ
 ませんか。どのような歩みも、その歩みが道を知り、
 人生の幅を広げるチャンス。そもそもいま思い描いて
 いるゴールが本当のゴールなのかすら分からないので
 すから。北高生の益々の前進を祈って止みません。

施設広報委員 山本 有紀